

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (’06ZK(CES9002・9012・9022)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。  
この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)  
特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル\*一覧をご確認ください。

\*アフターサポート切れのため、部品の発注不可です

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1 ) 1	(タ イ プ 2 ) 2	正 規 品	(タ イ プ 1 ) 1	(タ イ プ 2 ) 2
(タ イ プ 3 ) 3	(タ イ プ 4 ) 4	(タ イ プ 5 ) 5	(タ イ プ 3 ) 3	(タ イ プ 4 ) 4	(タ イ プ 5 ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 <<本体側の設定方法>> ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

**手順 1**

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

本体操作部の **運転入/切** を10秒以上押し続ける  
 ⇒10秒後に全てのランプが**2秒間点灯**します。

本体操作部

手順3まで押したまま

<<下図は例です>>

<b>本体表示部</b>	運転中 タイマー節電中 便座 温水 TOTO	文字が緑色に点灯します。 ※全点灯2秒間	運転中 タイマー節電中 便座 温水 TOTO	文字が点滅などしたら最初からやり直してください。
--------------	---------------------------------	-------------------------	---------------------------------	--------------------------

**手順 2**

**運転入/切** を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)  
 すると、**すぐに** **ビデ入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

脱臭 ○

[※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。]

**手順 3**

**運転入/切** を押したまま、**おしり入/切** を押す。  
**おしり入/切** を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

表示部 \ コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5
運転中	◎	×	◎	×	◎	×
温水	◎	◎	×	×	◎	◎
便座	◎	◎	◎	◎	×	×

◎…点灯 ×…消灯

本体操作部

**手順 4**

**運転入/切** から手を離れた時点で設定したコードになります。

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

**手順 5**

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

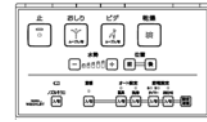
例

リモコンコード特1

この商品は特1タイプのリモコンでご使用ください。

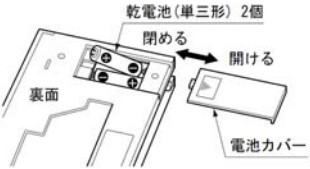
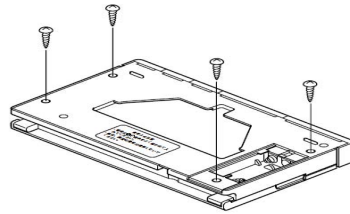
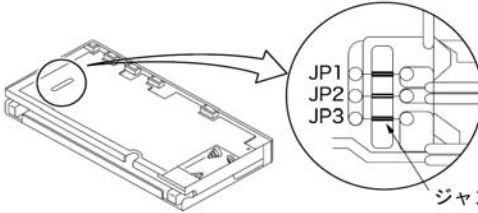
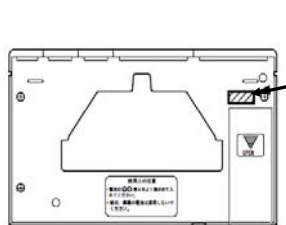


## 左図リモコンがセットされている 場合のリモコン設定方法



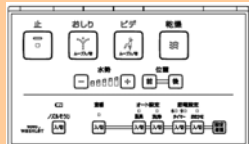
上図『補修品専用リモコン』の設定方法は、次ページをご参照ください。

### <<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																
2	 <p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーで取りはずす。</p>																																
3	 <p><b>ご注意!!</b> ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>◎…つながったまま ×…切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ジャンパ線</th> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td></td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p>	ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1		◎	×	◎	×	◎	×	JP2		◎	◎	×	×	◎	◎	JP3		◎	◎	◎	◎	×	×
ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																										
JP1		◎	×	◎	×	◎	×																										
JP2		◎	◎	×	×	◎	◎																										
JP3		◎	◎	◎	◎	×	×																										
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。</p>																																
5	 <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



# 『補修品専用リモコン』がセットされている場合のリモコン設定方法



## <<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																				
1	<p>単3形乾電池 2個</p> <p>電池カバー</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																			
2	<p>ねじ</p>	<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <p>◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p>																																			
3	<p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	<p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> <p><b>*補修品専用リモコンではジャンパー線が4本ありますが、本体側で特コードを設定する場合は特5までしか利用できませんので特1～特5内で設定を行ってください。</b></p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎																															
4	<p>電池端子</p> <p>○</p> <p>×</p>	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <p><b>ご注意!!</b> 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p>																																			
5	<p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																			

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)